

## 令和4年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画取組に対する委員の御意見

## 【基本目標1】

1-1	<p>コロナ禍という異常な環境が続く中、公民館等地域を中心として相談窓口を設置し、相談体制の充実を図られ、誰もが相談しやすい環境になったことは大変良かったと思います。情報提供に関しても定期的な実施方法を検討することをお願いします。対面でなくても、現代に合ったSNS、オンライン等様々な方法で継続していく形は、今、とても重要と思います。</p>
	<p>P1 総務部でサービス向上が課題であると認識しながら窓口サービス向上委員会の開催がなかったのは残念。窓口サービス向上委員会の開催が事業計画であるのに対して「実績なし」なら、未実施の「D」では？</p>
	<p>全年齢への情報提供の構築を引き続きよろしくをお願いします。</p>
	<p>AI窓口案内は、本庁の正面玄関にも設置してありましたが、来庁者の反応はいかがでしたか？ もし、実用段階になく使用頻度が低かったのであれば、どのような課題があったかを教えて頂けると幸いです。 「困難ケースに対応するための出口となる社会資源の発掘、連携」とありますが、具体的には、どのような資源ですか？</p>
	<p>総合相談のシステムについて、2ヶ所からさらにどのような形で拡充するかを検討をお願いしたい。 包括や15地区公民館の役割等についても整理して欲しい。</p>
1-2	<p>塩原温泉病院との連携は、塩原地区だけでなく市全体に及んだほうが良い。 見守り活動等実施団体の目標団体数を設けたほうが良い。 主任児童員を地域学校協働本部でも位置づけ、児童委員・学校・コミュニティ・自治会の連携強化すべき。</p>
	<p>近年増加傾向にあるヤングケアラーや新たに支援を必要とする人が、声を上げやすい様に、又、早期発見ができる様に検討を続けて下さい。自治会の見守り活動は、地域の高齢者だけでなく、その家族の様子を見ることのできる良い活動だと思います。全ての自治会が実施することを願います。</p>
	<p>SNSを用いたニーズキャッチは凄く良いと思います（夜間も対応しているの？）</p>
	<p>自立支援協議会により抽出することが出来ない地域課題とは、どのような課題ですか？ また、課題に対して必要となる今後の対応はどのような内容ですか？</p>
	<p>SNSを用いた取組等とても良いと思います。</p>
	<p>情報発信力が高まってきていると感じている。さらなる充実をお願いしたい。</p>

1-3	<p>地区社協の設置は、西那須野地区内では、コミュニティ単位での設置が望ましく、コミュニティ内の団体として位置づける方が連携はスムーズになる。 ゴミ出し、買い物、庭の除草、通院等は有料とし、費用は市が援助する体制を作った方が良い。 公民館などを居場所づくりの定例会場として積極的に貸し出す。</p>
	<p>地域課題の解決には多くの協議と時間が必要になると思います。高齢者や障害のある方の日常生活支援を誰がどの様に行っていくのが良いのか、これからも続く課題だと思いますが、誰もが普通に生活できる様にご検討をお願いします。</p>
P24	<p>保健福祉部の事業実施計画にある「地区社協設立」というのは、新たな計画なのでしょうか？</p>
	<p>他機関との連携強化を進めていかないと目標の「誰もが…」が進まないで連携強化をお願いします。</p>
	<p>「あすてらす(日常生活自立支援事業)」での支援の充実を図ります。とありますが、県内他市町と比較すると、人口約50万人の宇都宮市の91件を上回る120件となっています。人口比でも、実契約件数でも1位で、積極的な支援を行う姿勢の結果ではないかと感じております。こういった見えにくい実績も、那須塩原市の特色なのではないでしょうか？ 一方で、財政的な負担が大きいことや、支援員の確保など維持するための苦勞も多いことと思います。 権利擁護は今後も生活を支える重要な支援の一つであり、成年後見制度への円滑な移行も可能になると期待しております。</p>
	<p>地域包括ケアシステムの構築には医療機関との連携は必須であると考えます。成果としては医療機関との連携不足とのことであるが、不足であった原因は把握できているのでしょうか。 コロナ対応に追われ、余力がなかったのであれば今後に期待できるが、それ以外の原因なのであれば、アプローチの再検討が必要であると思います。</p>
	<p>多様な地域福祉のニーズに対し、各所での連携や支援の仕組みが徐々につくられつつあると感じている。 もともと、利用者側からすると、困った時にどこに相談に行けばよいのか？また、自分が相談に行っても良いものかわからない人がまだ多くいると思われる。相談についての情報提供や、当事者自身も気づいていない課題を認識してもらって相談につなげる取り組みの工夫を今後も検討・開発していただきたい。</p>

### 【基本目標1】全体についてのご意見

<p>各施策の方向性に関する取り組みは、どの団体、所管の成果を見てもおおむね達成されており、大変な努力をされたことと思います。全体的に見て、標準以上ではないかと考えます。確実に市民の相談内容に合った支援のために相談体制の充実をお願いします。 又、生活支援が必要な人、災害時に支援が必要な人に対して、地域全体で、特に自治会（民生委員等含む）で共通理解が必要と思われるので、定期的な実施方法の（行政からの指導等）検討を続けて下さい。 人の力、情報機器の力を最大限に活用し、地域福祉の仕組み作りに活かしていくことが、とても大切なことと思います。</p>
<p>ニーズキャッチの方法など新たな取組みがなされていますので、それを必要な人に届けられる様にできるといいです。 また、コロナも5類に移行したので、これからは感染状況を見つつ啓発活動の実施を増やしていければ良いと思います。</p>

## 【基本目標 2】

2-1	日常生活における移動手段については、高齢者や障害のある方のみならず、一般市民も近い将来同じ立場になることと考え、関心のあることの一つです。又、安心、安全のための環境作りも昨今何が起こるか分からない状況もあるので引き続き関係機関との連携をお願いします。両文とも大変難しい問題ですが、今後も検討と実施をお願いします。
	P49 建設部 「地域福祉計画」なのに、事業実施計画に「バリアフリー」の観点がないのはおかしいのでは？ 車いすやベビーカー、高齢者が安心して歩ける歩道整備を目指すべきではないでしょうか。 計画に基づき着実な取り組みはできていると思うが、いまいち、たとえば交通問題でどの程度の住民が困難を抱えているか、それに対して施策が効果的なものになっているかがわかりづらい。一度ニーズ把握などの調査が必要なのではないか？
2-2	高層マンションの防災も検討しておく必要があります。停電でエレベーターや電気製品が使えなくなった時の対策が必要。 防災士の養成の継続を。近隣、地域での人と人の関係性を見直し、いつても助け合える関係を作っておくことが今後大きな課題になると思います。住民同志の関係希薄化が言われる中、その解決には時間がかかるかも知れませんが、これからも検討と実施をお願いします。スクールガードや防犯パトロール等、人材の確保が難しくなりつつありますが、生命に関わることも少なくないので今後も人材の確保、又は育成等、見直し検討をお願いします。 地域における防災、防犯、見守り等、地域の役員やボランティアの負担が年々増大していることがとても心配です。市の計画ごとに複数の組織を立ち上げると市民にとっては負担になるので、持続可能な組織づくりが必要だと思う。 防災士資格取得者が養成事業により増加したことは、高い評価にあたいすると思う。 自主防災組織や災害時要支援者リストの作成など着実な取り組みが進んできていると感じる。 地域の間人関係の希薄化は、防犯、防災力の低下にもつながるので、地域での地道なつながりづくりへの支援を今後も継続して欲しい。
2-3	コロナ禍の中でもできる支援があり実施できたことは大変良かったと思います。居場所があるのは知っているけれど、なかなか参加できないという人にも積極的に声かけをしていくことが大切だと思います。 子ども食堂や生きがいサロン等ありますが、個人個人の考え方や性格もあって難しいとは思いますが、利用する人が受けるだけでなく、力を発揮してもらう方法も必要かと思えます。 P71 総務部 計画が達成できる見込みで「B」とのことだが、実際はどうなったのでしょうか？ (2) 障害者の就労（一般就労と福祉的就労）を同系列で話をするとわからないので、分けて評価をしてほしい。 また、機会は増加していても定着はどうでしょうか 居場所づくりは、各分野ごとには進められていると感じる。今後はもう一歩進めて共生型、ごちゃまぜの居場所づくりを進める必要があるのではないかと感じている。取り組みを縦割りで終わらせず、横割りにして行って欲しい。

2-4	<p>何よりも身近にいる人たちの目が重要なので、住民同志の関係性を見直すことが大切だと思います。子どもや高齢者、支援が必要な人の見守りは大切なことと面ますが、他にも知り合いのいない中での子育て中の人、シングルマザー、ファザー等、なかなか見えにくいことがあります、見守りが必要な場合もあるので状況把握をしながら支援の方法を考えることも必要かと思ひます。</p>
	<p>P87 塩原支所 「行政情報」とは具体的に何の情報のことでしょうか？</p>
	<p>R5.2現在で、見守り実施自治会が137になっているのは、大きな成果だと思う。この資源を活かして今後どのような対策を行うかが課題となる。先ごろ成立した孤独・孤立対策推進法への対応も求められるので、今後自治体として、どのような取り組みを進めるか検討して欲しい。</p>

【基本目標2】全体についてのご意見

<p>各施策の方向性に関する取り組みは、どの所管、団体の成果を見てもおおむね達成されており、標準以上とは思いますが、もしかしたらまだ何か良い方法があるかも知れないので、更なる検討を願って標準としました。 地域で暮らしていくには、1人では難しく色々な人の手を借りながら生活が成り立っていると思ひます。 住民同志お互いに声かけと見守りをしながら生活することの大切さを伝え続けていくことが、重要と考えます。いつでも顔の見える地域であり続けるための施策を今後も願ひします。</p>
<p>平時の見守り活動が有事の際に現れるので日頃から繋がりが重要だと思います。</p>
<p>塩原エリアの未達成の状況は、社会資源や人材不足等の課題があると考えられる。 市全体でバックアップする体制も検討して欲しい。</p>

## 基本目標 3】

3-1	<p>障害のある人への理解はなかなか進まない現状がある様に思います。同じ地域に住んでいても分からないことが多く難しい問題です。住民自ら理解を深めようと思える活動と同時に障害のある人も自ら理解してもらえる様に支援が必要を考えます。そのひとつにクッキーや手芸品の販売はとても良いと思います。 多くの人の目に触れられる様に願っています。</p>
	<p>事業者の合理的配慮がR6年度から実施されるのでそれに向けての啓発を強化してください。</p>
	<p>様々な取り組みが着実に進められてきていることは評価できる。計画に明示されていないが、外国人との共生、また先の国会で成立したい いわゆるLGBT理解の促進も今後重要であろう。 社会の多様な人が排除されることなく、共に生きる地域づくりに向けた取り組みを柔軟に検討してもらいたい。</p>
3-2	<p>異常気象による災害復旧活動や福祉活動において、ボランティアの存在は大きいと思います。若手層の育成や活動支援を今後も継続してほしいと思います。 ボランティアという名のもと、全て無償と思われがちですが、有償ボランティアやボランティアポイント制度等、ボランティアに関心を持ってもらえる様な施策を期待しています。</p>
	<p>P99 「オンライン環境にない住民や慣れない住民」に対しては、今後ますます支援が必要になると思います。 ワクチン接種の手続きやプレミアム商品券の申し込みなど、簡単にできる人と、そうでない人の格差が広がりつつある。 行政手続きのみならず、宅配の不在通知への対応など社会全体で様々なAI化が進んでおり、高齢者にはハードルが高い。</p>
	<p>コロナ禍の為、あらゆる面において自粛傾向にあった中において、ZOOMを含めて状況に応じた取り組みを継続し続けていたことは素晴らしいこと。 様々な苦労や課題が生じていたと思うが、今後に生きるものであると期待しております。</p>
	<p>若者向けボランティア講座が新たに各所で取組まれていることは評価できる。今後は、勤労者層、企業、シルバー層にもアプローチした ボランティア養成プログラムの拡充を図って欲しい。 特にコロナが落ちつき、再びボランティアニーズは高まると予想される。チャンスでもある。 特に企業は、SDGSやCSRの取り組みの一環として、地域でのボランティア活動に関心を寄せている。 シルバー世代の孤立対策の一つとして、ボランティアを考えるのもいいと思う。</p>

3-3	<p>地域に住み続けていく中で、交流や居場所があることがとても大切なことと思います。いつも同じ人たちの集まりではなく、常に様々な世代や人に目を向け一人でも多くの人が集える場を提供し、交流することが大切なことと思います。</p> <p>地域に住むことは、自治会加入が大事であるというその加入メリットの周知と魅力ある活動、人とのつながりの楽しさ等、ひとつひとつ根気強く伝え続けていくことが重要だと思います。</p>
	<p>P110 塩原支所 同じ市であるのに、塩原だけコロナが理由になるのはなぜなのでしょう。年度当初に社協全体で事業計画を立てたはずでしょうし、年度途中でも全体の会議等ですり合わせはしないのでしょうか？</p>
	<p>自治会加入率の成果があがっていないところが気になっている。一度、なぜ加入率があがらないか、行っている施策ほどの程度効果をあげているのか？あげられていないとすれば、なぜかなどの課題を分析する必要があると思う。分析に基づいて、試行錯誤する必要があると思う。（減少の背景にはコロナと高齢化があるだろうが、では今後どうするか、考えて頂きたい。）</p>

### 【基本目標3】全体についてのご意見

<p>各施策の方向性に関する取り組みは、どの所管、団体の成果を見てもおおむね達成されており、標準以上であることも多いと思いますが、今後の発展が期待されることから標準としました。</p> <p>世代を超えての交流や居場所があることが、将来若者たちにも大きな影響があると思います。</p> <p>自治会活動を含む地域での活躍の場が多くあると住民同志のつながりも深くなり、希薄化の解決にもつながっていくのではないのでしょうか。今後に期待します。</p>
<p>理解促進は地道に進めていくことが重要です。コロナ禍で停滞していた時間を取り戻すように活動してください。</p> <p>次世代の担い手はづくりも重要です。よろしくお願いいたします。</p>
<p>SNSを活用し、より多くの人からニーズをキャッチできれば、よりよいサービスにつながると思います。</p>
<p>別のところでも述べたが、塩原地区のつながりや人材養成は地区だけに任せるのではなく、全市的な取り組みが必要だと思う。塩原をどう盛り上げるか、特命チームのようなものをつくり、検討していく必要があるのではないか。</p>